

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 学校企画課長 福間 俊行 電話番号 0852-22-5408

事務事業の名称	高等学校奨学事業	
目的	(1) 対象	高等学校等に在学する生徒
	(2) 意図	奨学金を貸与することにより、修学の機会均等を図る。
事業概要	公益財団法人島根県育英会が行う高等学校等奨学資金事業に補助金の交付を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 適格者に対する貸与率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 貸与者数/貸与することが適当な申請者数	実績値	100.0	100.0	100.0			
		達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	41,019	41,431
うち一般財源 (千円)	41,019	41,431

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成29年5月1日現在の島根県内の高等学校の生徒数については、18,818人で、前年度より68人減少している。（平成29年度学校基本調査より）
- 平成29年度の高等学校奨学金の貸与者数は822人（前年度より87人減）、貸与額は242,674千円（前年度より24,989千円減）となっている。新規募集枠は、過去の実績により減数して対応している。
- 平成29年度の返還率は、現年度分は89.5%（前年度より0.4ポイント減）、過年度分は28.1%（2.7ポイント増）となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 予約奨学生、在学奨学生とも貸与希望者への貸付ができた。

平成29年度
 予約 申請者数 133名
 貸与者数 133名
 在学 申請者数 105名
 貸与者数 105名

- 債権回収（サービサー）委託により、回収が困難な滞納金の回収ができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 過年度返還金にかかる返還率は、平成28年度から上向いているが、未収金額は増加している。

②困っている状況が発生している「原因」

- 返還金納付者が経済的に困窮している（高校等を退学したことにより、定職に就けないなど）。
- 返還金納付者の返還意識の低下がみられ、連絡等に応じないケースも増加している。
- 無利子の貸付であることから納付が遅れても、返還額への影響がない。

③原因を解消するための「課題」

- 計画的な返還への意識付け（返還が遅れることに対する不利益）。
- 滞納者への返還への働きかけの徹底。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 引き続き、債権回収（サービサー）委託の継続的活用を行っていくとともに、連絡に応じない貸与者に対する法的措置を講じる必要性の検討を行う。
- 延滞金の徴収の検討（制度的には整備済だが、貸与時に延滞金を徴収する旨を通知をしていないことから、今後貸付ものからが検討の対象）